

WE ARE WHAT WE EAT

A FILM BY JUNYA TANAKA

WITH

ALICE WATERS

— 未来につながるおいしい解決策 —

食べられず
校庭って
何だろう？



3.2 (土) 10:30 ~ 15:00 南小エディブル・スクールヤード ～中庭と給食が授業になる日～ 上映会 & 妄想クロストーク

「やさいも、土も、やさいのお家も、わたしたちがつくりました！」
自分たちの中庭でやってきた授業を、見学にきた大人たちに発表する学校公開。
「次の家庭科の授業は、中庭で育てた大根で、みそ汁をつくります」
授業の舞台は、中庭から家庭科室へ。おいしい授業がスタート。
「ここから見るけしきが学校の中で一番すき」
2階の廊下から見下ろす中庭は色とりどり。風がふくとほんのりハーブの香り。
南小をそんな学校にできないかなと妄想をふくらませる映画の上映会と
先生たちとの妄想会議を開きます。

会場：小金井市立南小学校 体育館

上映会参加費：1,000円 / 大学生
以下は無料 / トークタイムも無料

お問い合わせ・運営：
koganei.edible@gmail.com

小金井アリス・ウォータースドキュメンタリー
映画上映会実行委員会 (担当：山口洗輝)

お申し込み

下記のURL、もしくは右の
QRコードよりお申し込み
下さい。
飛び入り参加も歓迎です！



<https://forms.gle/qKyk2bQvHBAyfY747>

小学校の中にある、ガーデンとキッチンで、国語・算数・理科・社会の授業と連動させながら学ぶ、エディブル・スクールヤード。エディブルは食べられる。スクールヤードは校庭の意味です。最初の学校では駐車場のコンクリートをはがしてガーデンをつくり、食べること・生きることを学ぶ食育菜園になりました。夢みたいな話ですが、1995年からアメリカ・バークレーにある公立中学校からはじまり、世界の6200校にまで広がりました



食べられる
校庭って
何だろう



東京でも多摩市の愛和小学校、中央区の阪本小学校でも、エディブルの授業が実践されています。エディブルをはじめたアリス・ウォータースさんから「見たものは信じられる」と教えてもらいました。2023年10月に日本各地をまわり、学校と食を起点に「地域と学びを豊かにしていく」風景をまとめた、ドキュメンタリー映画を見ながら、「東京」「小金井市」「南小学校」をフィールドに「おいしい革命」への踏み出し方を一緒に考えましょう！

プログラム妄想中

10:00~10:30 受付

10:30~11:30 <アリス・ウォータース氏来日ドキュメンタリー映画上映会>

『WE ARE WHAT WE EAT -未来につなぐ おいしい解決策-』の上映

11:30~13:00 それぞれ持参したランチを一緒に食べながら、感じたことをシェアしよう！

13:00~15:00 <南小妄想クロストーク>

●『中庭ガーデン授業！食を授業の題材に取り入れることの可能性』

小金井市立南小教員・村上聡恵 × 一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン

●『みんなでつくるおいしい給食！給食と地域の農家がつながることの可能性』

小金井市立南小栄養士・遠藤尚子 × オーガニック給食研究家・菅野奈穂 × まあるいのうえん・渡辺裕樹

●『妄想ふりかえりタイム』小グループに分かれてクロストーク感想や、やりたいをシェアしよう！

村上先生は竹で楽器をつくって演奏する授業、演劇を通じた表現教育、学校の畑の野菜でピザづくりなど、子どもたちの探究心をくすぐる授業を実践中！（現在は1年生の担任）エディブル・スクールヤード・ジャパンの取り組みや実践事例について話を聞きながら、南小でどんな中庭ガーデン授業をやっていきたいか、そんな妄想を膨らませていきます！



遠藤先生は生きた教材として食生活のお手本となるような献立を考え、伝統野菜をたっぷり使うオリジナルレシピ「えどこがねじる」の絵本をつくったり、夏休みには給食室でのパン教室、給食メニューのだしを当てるクラス対抗だし汁クイズの企画など、給食室の可能性を上げられています！

食べることと学ぶこと、学校給食と地域がつながることで広がる世界とは何か、そんな妄想を膨らませていきます！



スペシャルサイトでも詳しい情報や、最新の情報をみれるよ！
これからの活動もチェックしてみてね！
<https://morinohito.net/koganei-edible/>

